



後藤滋樹
goto@goto.info.waseda.ac.jp
早稲田大学 理工学部 情報学科

第57回「字引く書なり」(dictionary)

【辞書は役に立つ】

パソコンでモバイルと言えれば軽やかに飛び回る響きがある。しかし実態は、付属品と一緒にパソコンを持ち歩くため重い。電子メールを使うだけならば、もっと軽く済む方法がある。せっかくパソコンを使うのだから、ほかのソフトも活用したいものだ。辞書はパソコンを有効に使える候補の1つである。英語のメールを書く機会が増えているから、英和・和英辞書があれば移動中でも便利に違いない。例文がたくさん載っている辞書はサイズの大きい書籍だから、パソコンで兼用できれば助かる。

パソコンショップには書籍コーナーでなくソフトのコーナーに辞書がある。その中にはハードディスク収納型と銘打った製品がある。そういえば辞書はCD-ROMに入れて使うものが多い。私は紙の辞書で愛用している大修館の「ジーニアス英和辞典」を使ってみたい。大修館のCD-ROM（英和＋和英）を購入し、CD-ROMをソースネクストの「携速98」でディスクに収納して試した。

ここで気になるのが値段である。ジーニアスのCD-ROMが9,000円、携速98は11,800円。本屋さんで並んでいる紙の辞書はジーニアス英和辞典が2,850円、和英辞典が3,250円である。比べてみるとCD-ROMの辞書が高い。しかし書籍の辞書には革装というのがある。英和が4,400円、和英が4,800円。これを合計するといい勝負となる（いずれも税抜き価格）。



【検索が早い】

革装に匹敵する値段のCD-ROMを買ったからには、おおいに活用すべきだ。まず検索の速度は、携速98の効果もあるのだろう。十分に満足できる。紙の辞書を手で引くよりも速い。

次に電子辞書の特徴を生かした「複合検索」で例文を検索してみる。knowとthatの2語を入力して「複合検索1」を実行すると、この2語を含む例文が検索できる。2語の出現順序には関係しないので、We all know (that) he is a great actor. という例文と同時に、逆順に出現するThey answered (me) (that) they did not know me. という文も出る。また、Thatが先頭にあるThat's all he knows about it. という文も同時に出る。いかにも機械的な検索結果であるが、全部見つかるのだから明快である。「複合検索2」は成句の検索である。

昔から考えていたのだが、英和辞書の内容を高速に検索できるならば、実は和英辞書として使える。まず日本語の単語を入

力し、その単語で英和辞書の記述内容を全文検索する。日本語の単語に該当する箇所の英単語を表示すれば、和英辞書の機能が実現される。さっそくジーニアスのCD-ROMに日本語を入力して単語検索を試みよう。その結果は、残念というか当然というべきが、日本語を入力するとCD-ROMに収録されている和英辞典のほう自動的に検索されてしまう。英和辞典を日本語で引く実験はできない。このジーニアス英和辞典は、それなりに工夫が凝らされている新しい和英辞典なのだが……。

【活用したい「英和活用大辞典」】

携速98の適用対象がジーニアスだけではもったいない。音楽CDも扱えるらしいけれど、今回は辞書をもう1つ試そう。研究社の「英和活用大辞典」のCD-ROMがある。この辞典は名前を聞いただけではご利益がまったくわからない。英語の書名はDictionary of English Collocationsという。コロケーションという用語を、

ジーニアス英和辞典で引くと「連語」とある。つまり単語の並びを集めた辞書のようなものである。

この辞書には隠れたファンがいると思う。ほかには類似品がない。どのような場面で使うのかと言うと、前置詞の選択に迷うとき、たとえば「予算の見積額」はestimate of the budgetなのか、それともestimate for the budgetなのか。「活用辞典」

を使って「和英前方一致」で「見積」と入力すると、「見積もり額」のestimateを選択する。このあとが特徴的である。estimateの画面の中で【+前置詞】を選ぶ。そうすると例文が表示されて、estimate for the budgetと判明する。そのほかにもestimate + 前置詞のパターンがたくさん並び、普通の辞書のように意味で配列するのではなく、文のパターンで割り切って配列している。辞書というよりも例文集と言ったほうが雰囲気伝わる。活用辞典が表示する例文は、実際に使用されている英語の文献から収録されたものである。私たち日本人にはありがたい情報だ。この活用辞典は、上の例題でもわかるように、英和としても和英としても検索できる。書籍としての活用大辞典は英和式に配列されている。このCD-ROM版によって和英式の検索が可能になった。また細かいことだが、英和モードではパソコンのキーボードが直接入力に、和英モードでは日本語入力に切り替わるのも配慮が行き届いている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp